



2024年9月6日
東京製鐵株式会社

当社ホットコイルを使用した千代田鋼鉄工業株式会社のカラーガルバリウム鋼板が
公共施設の屋根材に初採用されました。

当社は、異形棒鋼・カラー鋼板メーカーである千代田鋼鉄工業株式会社(以下、千代田鋼鉄工業)と協働し、2024年5月よりカラーガルバリウム鋼板の原板となるホットコイルを供給してまいりました。本スキームは、当社ホットコイルを薄板リローラーメーカーにてガルバリウム鋼板へと加工し、その後千代田鋼鉄工業にてカラー塗装を実施し製品として出荷するものです。

このたび、システム建築やプレハブなどを展開する株式会社内藤ハウスの「KIT-Base+」の屋根材に、当社ホットコイルを用いた千代田鋼鉄工業のカラーガルバリウム鋼板が初めて採用されました。今回のような屋根材への採用には、通常の外壁材よりも耐久性や耐食性が求められるため、当製品が屋根材として十分な性能を保持していることが確認されたものと考えています。

千代田鋼鉄工業は、当社コイル製品を原板とするカラー鋼板を「サーキュラーカラー鋼板」として生産販売しており、既存製品と同等程度の加工性と成形精度を持ち、資源循環の促進と資材調達段階のCO₂削減に寄与する製品として採用実績が増加しつつあります。

当社は、長期環境ビジョン「Tokyo Steel EcoVision 2050」のもと、鉄鋼業界のトップランナーとして、これからも地球環境に優しい電炉鋼材の特徴を生かし、さらなる企業価値の向上と、持続可能な社会の実現に向けた取組みを継続してまいります。



長野県松本市の公共施設で屋根材として初採用
(※提供：千代田鋼鉄工業株式会社)

お問い合わせ先：<https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>